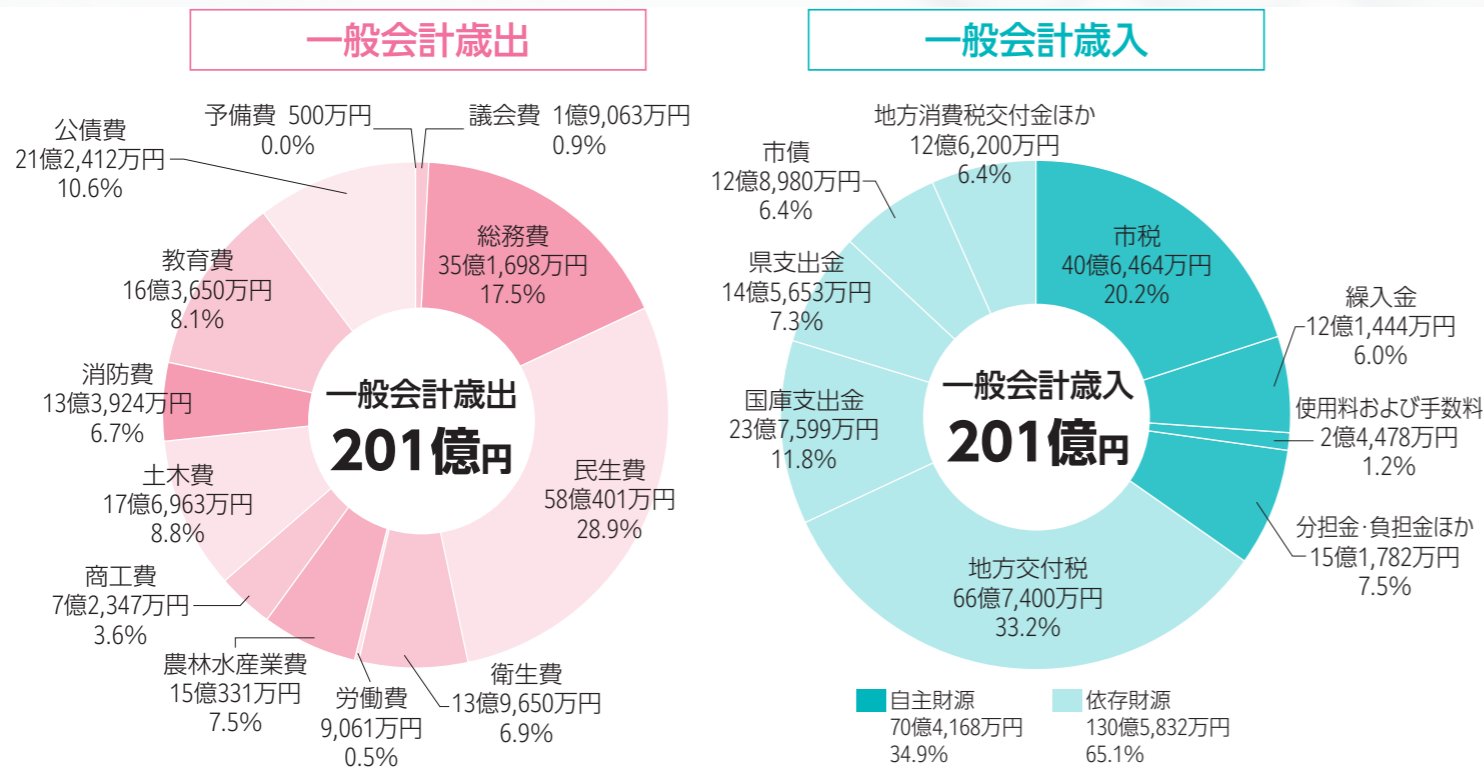


令和6年度 予算概要

本市においては、生産年齢人口の減少やコロナ禍の市内経済への影響により、市税収入が減少傾向にあることや、公共施設の効率的な維持管理に向けた指定管理料などの物件費が増加傾向にあるなどの理由から、健全な行財政運営を維持するため、限られた財源を効果的に活用する必要があります。

このような状況を踏まえ、歳入では、国・県を始め、企業・各種団体の補助・助成制度の活用やふるさと納税の促進による自主財源の確保に努めるとともに、歳出では、歳入規模に見合った財政運営への転換を念頭に置きながら、事務事業の緊急度や優先度を見極めつつ、地場企業の振興や子ども・子育ての充実、デジタル化の推進などに関する施策に配慮しながら、予算編成を行いました。

▶問い合わせ先 = 財政課財政係 (☎内線224)



予算額総括表

会計区分		6年度予算額	5年度予算額	増減率
一般会計		201億円	208億9,000万円	△3.8%
特別会計	魚市場事業特別会計	2億6,120万円	2億5,626万円	1.9%
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,455万円	1,297万円	12.2%
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	42億8,796万円	42億3,749万円	1.2%
	後期高齢者医療特別会計	5億6,023万円	5億636万円	10.6%
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	40億9,974万円	39億5,081万円	3.8%
	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	2億4,675万円	2億5,070万円	△1.6%
企業会計	水道事業会計	20億7,126万円	15億4,486万円	△2.7%
	簡易水道事業会計		5億8,288万円	
	下水道事業会計	19億7,819万円	20億9,468万円	△5.6%
合計		336億1,988万円	343億2,701万円	△2.1%

※水道事業所と簡易水道事業所は、令和6年4月1日から、統合しました。

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額から、現金の支出を伴わない減価償却費および資産減耗費を除いた額です。

大綱4

潤いに満ちた快適な生活環境の創造

予算額：約19億1,842万円

Pick up



国道107号白石峠区間改良整備の早期着工や(仮称)大船渡内陸道路の高規格化の早期実現のため、国・県への働きかけを強化します。

- 大船渡駅周辺地区の未利用地の概要を市ホームページなどにより情報発信しながら、土地所有者と利用希望者のマッチング支援を実施
- 住宅リフォームにおける断熱向上工事に対する助成や、住まいの省エネルギー改修推進事業の創設により、環境に配慮した住宅の普及を促進
- 空家対策計画に沿った取り組みなどによる空き家の利活用の促進
- おおふなと防災公園のトイレなどの建築工事を実施
- デマンド交通の拡充やタクシーチケット配布事業の実施

大綱5

やすらぎある安全なまちづくりの推進

予算額：約14億5,604万円

- 祈りのモニュメント完成を契機に、3.11伝承ロードへの登録による震災伝承施設の拡充と防災学習の取り組みを推進
- ハザードマップを活用した避難訓練などによる避難経路や避難所運営方法の再確認など
- 消防団員と地域コミュニティの連携による、市民への火災予防指導体制などの確立
- 大船渡地区消防組合における消防指令センター通信指令設備の更新などに対する費用の負担

大綱6

自然豊かな環境の保全と創造

予算額：約8億4,951万円

- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づく省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用促進などの取り組みを推進
- プラスチック廃棄物の分別収集および再商品化
- に向け、市民へのごみ排出方法の周知や分別などを促す取り組みを実施
- 下船渡地区および立根地区における下水道の管渠整備を実施

大綱7

新たな時代を切り拓く行政経営の確立

予算額：約55億7,916万円

- 令和8年度を初年度とする総合計画後期基本計画の策定に向け、市政懇談会やグループインタビュー、市民意識調査などを実施
- デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、地方創生の加速化・深化、デジタル活用の取り組みによる社会課題の解決や魅力向上の取り組みを実施
- 「おおふなと版窓口改革」として、書かない・ワンストップ窓口や、行かない窓口の実現に向けた取り組みを推進
- フルカラー化した市広報紙の内容のさらなる充実とデジタルを軸とした広聴広報活動を推進

Pick up



ふるさと納税について、より魅力あるお礼品の発掘とお礼品取扱事業者の新規参入・増加を図りながら、寄附額の増額を目指します。